

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 1年次生 伊藤今宵

1. はじめに

私は2021年3月9日から27日の3週間、国際交流基金の助成を受けて、ハワイ大学マノア校で行われたオンラインプログラムに参加しました。今回はその体験を報告致します。

2. プログラム内容

この3週間は1日2時間ほどの授業を受けました。前半1時間はハワイ大学の学生とフリートークを楽しんだり、与えられた課題に関して話したりしました。フリートークでは映画やマンガ、アニメなどのエンタメ系や旅行の話、文化など、あらゆる話題で盛り上がりました。ハワイには様々な国の文化が集まっており、日本でよく知られた飲食店がハワイにもあることを知り、グローバル化を感じました。

また、現在の大学生活や授業形態などこの時期ならではの話題も上がりました。

ハワイ大学ではまだ対面授業が受けられないと聞き、対面授業を受けることができている自分の置かれた状況に感謝して、頑張らなくてはいと思いました。

ハワイ大学の学生はフレンドリー且つとても親切で、私が言葉に詰まったりうまく英語で話せなかったりする時でも最後まで聴いてくれたのが嬉しかったです。

後半1時間は早口言葉、イントネーション、ディベート、スラング等を練習しました。先生が、完璧な英語を話すよりコミュニケーションをとろうとすることが大事、「Don't be shy!」とよく仰っていたのが印象的でした。はじめは私を含め皆遠慮していましたが、練習回数を重ねるにつれて、積極的に発言していこうとするその雰囲気はとても頼もしかったですし、自分自身にも段々自信がついてきました。皆の頑張る姿を見て刺激をもらうことができ、とても良かったです。

3. 学んだこと

意見や考えを述べる際に、自分がなぜそう思うのか理由を明確にすることで、相手に理解してもらいやすくなることを学びました。意見自体に正解も不正解もないという先生の言葉に驚きました。

また、自分の好きなことや地元のことを、1分程度のビデオにして皆に発表する機会がありました。私はディズニーが好きなので、お気に入りのディズニー映画を紹介しました。他の日本人学生のビデオも閲覧しましたが、中には桜やソーラン節を紹介している人がいて、改めて日本の文化の素晴らしさに気づかされました。

4. 成長した点

はじめは間違いを恐れて遠慮していましたが、日が経つにつれて自分から発言してこうと意欲的に取り組めたのが良かったです。英語で話すことに恐怖を感じなくなりました。また、今までは意見を述べる際にはっきりした理由を持っていなかったのですが、普段の生活で、ある事柄に対して自分がなぜそう思ったのか考える癖がつかしました。



5. 反省点

語彙力が圧倒的に少ないことに気が付き、言いたいことを上手く伝えられない、同じ単語を何度も使用してしまうなど悔しい思いを経験しました。最終日に現地の学生に、どうすればいいのかアドバイスを貰えたので現在実行中です。また、時折日本の文化について詳しく説明できずに苦戦したことがありました。普段から、自分の生活に関すること以外にアンテナを張っておくことが大切だと痛感しました。

6. プログラムを終えて

実際に参加してみて、数えきれないほど得られたものがあるのと同時に自分に足りないものもはっきり見えてきました。コロナ禍のため海外へ行くことを諦めていましたが、今回このような機会を与えてくださったことに感謝を申し上げます。大学生時代に、異なる国の人とコミュニケーションをとって、自分の見聞を広げることが夢だったので、それが叶った今はとても幸せだし、今後もこのような機会があるならばぜひ参加したいです。ありがとうございました。

現地の学生、日本の学生との記念撮影～アロハポーズで～

